ホクコーヘルシード®乳剤

■種 類 名：ペフラゾエート乳剤
■有効成分：ペフラゾエート----------15.0%

■登録番号：第18002号
■毒　　性：普通物(毒劇物に該当しないものを指していう通称)
■登録初年：1991.11.20
■性　　状：黄赤色澄明可乳化油状液体
■有効年限：4年
■包　　装：100㎖×60本、10㍑×1缶
■危 険 物：第二石油類危険等級Ⅲ、火気厳禁

【特長】

- 稲のばか苗病、いもち病、ごま葉枯病に効果の高い DMI 剤。
- シクラメン炭疽病にも適用がある。乳剤なので汚れが目立たない。

【適用内容】（2024 年 11 月末日現在）

作物名	適用病害名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	ペフラゾエートを含む農薬の総使用回数
稲	ばか苗病 いもち病 ごま葉枯病	20 倍	―	浸種前	1 回	10 分間種子浸漬	1 回
		200 倍				24 時間種子浸漬	
		7.5 倍	乾燥種籾 1kg 当り 30 ㎖			種子吹き付け処理（種子消毒機使用）又は塗沫処理	
シクラメン（施設栽培）	炭疽病	500 倍	100～300 ㍑／10a	発病初期	6 回以内	散布	6 回以内

【効果・薬害等の注意】

- 種子消毒は浸種前に行い、消毒後は水洗いせずに浸種すること。
- 浸漬処理の場合、籾と処理薬液の容量比は１：１以上とし、種籾はサラン網など粗目の袋を用い、薬液処理時によくゆすること。
- 薬液の温度は極端な低温をさけること。
- 吹き付け処理の場合は種子消毒機を使用し、種籾に均一に付着させて乾燥すること。
  また、塗沫処理の場合は、適当な容器内で種籾を攪拌しながら薬液を滴下するなどして、種籾に均一に付着させること。
- 本剤の処理を行った種籾を浸種する場合は、次の事項を守ること。
  - ◆ 浴比は１：２とし停滞水中で浸種すること。
  - ◆ 水の交換は原則として行わないこと。但し、水温が高い場合など酸素不足になるおそれがあるときは静かに換水すること。
  - ◆ 河川、湖沼、ため池などで浸種しないこと。
- 本剤の処理により、軽度の初期生育遅延を認めることがあるが、その後回復するので通常の管理を維持すること。
- 本剤の使用に当っては使用量、使用時期、使用方法を誤らないよう注意し、特に初めて使用する場合には病害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましい。

【安全使用上の注意】

- ❖ 原液は眼に対して強い刺激性があるので、薬液調製時には保護眼鏡を着用して薬剤が眼に入らないよう注意すること。
  眼に入った場合には直ちに水洗し、眼科医の手当を受けること。
- ❖ 浸漬処理の際は不浸透性手袋などを着用すること。
- ❖ 魚毒性等：浸漬後の薬液は、河川等に流さず、水産動植物に影響を与えないよう適切に処理すること。
- ❖ 危険物：本剤は危険物第４類第２石油類に属するので、火気には十分注意すること。
- ❖ 保管：火気をさけ、直射日光の当たらない低温な場所に密栓して保管すること。